

※ 今週のアウトルック(7/10～7/14)

先週は木曜日までは一進一退の攻防が続き、金曜日の米国雇用統計の発表を受けて一気に円高が進みました。非農業部門雇用者数の減少が予想以上だったことが嫌気されたようです。

今週は円安終了をうかがわせる展開が本物なのか、あるいは単なる調整に過ぎないのかを、まずは見極める必要があります。

先週のドル円は金曜日まで一進一退の展開が続き、金曜日の米国雇用統計の悪化を受けて一気にドル安が進みました。142円付近まで下落してそのまま週末を迎えています。

今週は週明けのアジア市場でどの程度までこの流れを引き継ぐのかをまずは見極める必要があります。

現状の日米の金利差や、雇用悪化を受けた利上げペースへの影響もまだはっきりとしない為、下落しても141円、あるいは140円付近で下げ止まる可能性が高いと考えています。

ドル円の予想レンジは140円から145円です。

先週のユーロ円もやや利益確定が先行して、金曜日の米国雇用統計の悪化を受けて更に下落しました。

今週は154円付近で下支えできるかどうかはまずはポイントとなりそうですが、154円を割り込む可能性は少ないと考えています。

ユーロ円の予想レンジは154円から158円です。

ポンド円は185円付近のレジスタンスに阻まれています。米国雇用統計悪化の影響で金曜日には182円中盤まで後退しました。ただ今週は、再び185円付近のレジスタンスブレイクに向かう可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは180円から190円です。

全般的にはドル高トレンドに少し暗雲がかかった状況ですが、FRBなどの具体的な動きがない限り、しばらくはレンジ内の動きとなる可能性が高いように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。